



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月2日

上場会社名 株式会社 アルメディオ
 コード番号 7859 URL <https://www.almedio.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 靖
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理・情報開示・IR担当 (氏名) 関 清美
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 042-511-0500

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	2,723	84.4	364		407		262	
2022年3月期第2四半期	1,476	22.8	23		18		46	

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 428百万円 (%) 2022年3月期第2四半期 30百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	15.14	15.08
2022年3月期第2四半期	3.18	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	5,368	3,562	66.0
2022年3月期	4,349	2,751	62.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 3,545百万円 2022年3月期 2,727百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		0.00	0.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,022	53.8	355	375.5	400	309.5	187		10.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 連結業績予想の修正については、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	18,508,316 株	2022年3月期	15,772,316 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	111,437 株	2022年3月期	111,437 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	17,301,758 株	2022年3月期2Q	14,690,879 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

四半期決算補足説明資料関係

・当該補足説明資料は、Financial Data Bookとして当社ウェブサイト(<https://www.almedio.co.jp/>)のIR情報ページに掲載いたします。Financial Data Bookには、事業別売上高ほか業績推移等をまとめております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「中期経営計画2022」の達成に向けた取り組みを推進し、事業構造改革のスピードを上げ、機能性材料メーカーへの転換を目指して初年度の計画実行に取り組んでおります。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高2,723百万円（前年同四半期比84.4%増）となりました。利益面は、営業利益364百万円（前年同四半期は営業損失23百万円）、経常利益407百万円（前年同四半期は経常損失18百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益262百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する当期純損失46百万円）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、従来「その他事業」としていたナノマテリアル事業の重要性が増したため、報告セグメントを「その他事業」から「ナノマテリアル事業」に変更しております。

断熱材事業

当事業は、連結子会社・阿爾賽（蘇州）無機材料有限公司において、電子部品用副資材、耐火材料及び関連製品の開発・製造・販売を行っており、当社でも同社製品を中心とした輸入販売を行っております。

国内は、主に工事案件の受注に伴い、炉材の販売が増加しました。また、受注先の別の拠点からも引合いがあり、横展開営業活動も展開しております。その他、売上構成比率は低いものの、断熱材に拘らない商材の販売が定期的な受注により増加しました。

阿爾賽（蘇州）無機材料有限公司は、異型成形品及び産業炉の販売が増加しました。特に太陽光発電パネル製造向け拡散炉用ヒーターモジュールが大幅に伸張し、売上拡大に貢献しております。また、為替レートが前年同四半期と比べ円安に進んだことに伴い円換算額が増加しました。

以上により、断熱材事業の売上高は2,137百万円（前年同四半期比118.3%増）となりました。

アーカイブ事業

当事業は、重要な情報を長期に亘って保存及び利用するための長期保存用光ドライブと長期保存用光ディスクの販売を行う「アーカイブ」と、産業用及びAV機器用光ドライブの開発・製造・販売を行う「ストレージソリューション」が含まれます。

アーカイブは、新規顧客から監視映像記録向けの大型案件を受注したことや、医療機器向けを中心に伸張したこと等により、長期保存用光ドライブの販売が増加しました。また、写真プリント店の端末向けの販売は順調に推移していますが、前年同四半期の売上高を僅かに下回りました。

ストレージソリューションは、産業機器用光ドライブの販売において、物流停滞の不安や半導体不足の影響から前倒し受注が続いている米国向けが増加したこと等により、前年同四半期の売上高を上回りました。

以上により、アーカイブ事業の売上高は558百万円（前年同四半期比18.9%増）となりました。

インダストリアルソリューション事業

当事業は、オーディオ・ビデオ機器やコンピュータ周辺機器等の規準及び調整用テストディスク等の開発・製造・販売を行っております。

主要顧客であるカーオーディオ・カーナビ等の車載機器メーカー向けの販売が、テストメディア使用量の減少等の影響により、前年同四半期の売上高を下回りました。また、AV機器市場及びPC市場においても、光ディスク以外の媒体への移行が引き続き進んでいることから需要は減少しました。

以上により、インダストリアルソリューション事業の売上高は21百万円（前年同四半期比15.9%減）となりました。

ナノマテリアル事業

当事業は、ナノマテリアルの研究開発・製造及び販売を行っており、ナノサイズの炭素繊維を製品化しております。

有償でのサンプル販売を行い、国内外共に幅広い業種へのサンプル出荷が増えております。また、本格採用の道筋が見えてきた顧客への対応を強化しており、顧客が抱える問題解決に向け複数のスペックの試作品を提案するなど、早期に採用されるよう取り組んでおります。これらの取り組みにより、一部の顧客においては最終段階テストやスケールアップテストを行う段階にまで進展しております。その結果、前年同四半期の売上高を上回りました。

なお、福島双葉工場は、2022年8月に完成し、順次、設備機器の搬入・据付を行い、本格稼動に向けた準備を進めております。半導体不足の影響により一部の設備の納品が遅れておりますが、現時点において稼動計画全体に大きな影響は生じない見込みであります。

以上により、ナノマテリアル事業の売上高は6百万円（前年同四半期比116.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、福島双葉工場の建屋及び設備の取得にかかる代金を計上したことによる建設仮勘定の増加等により、前連結会計年度末と比べて1,019百万円増加し、5,368百万円となりました。負債は、断熱材事業の受注増加に伴う前受金の増加等により、前連結会計年度末と比べて208百万円増加し、1,806百万円となりました。純資産は、減資による資本金及び資本剰余金の減少、新株予約権の権利行使による資本金及び資本剰余金の増加、欠損填補及び親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加、為替換算調整勘定の増加等により、前連結会計年度末と比べて811百万円増加し、3,562百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,538,323	1,376,535
受取手形及び売掛金	1,317,790	1,952,738
商品及び製品	464,143	159,965
仕掛品	57,014	41,796
原材料及び貯蔵品	176,500	205,088
その他	155,994	238,565
貸倒引当金	△23,444	△20,927
流動資産合計	3,686,323	3,953,762
固定資産		
有形固定資産		
建設仮勘定	162,316	837,917
その他(純額)	398,483	471,581
有形固定資産合計	560,800	1,309,499
無形固定資産	569	3,123
投資その他の資産	101,492	102,276
固定資産合計	662,861	1,414,899
資産合計	4,349,184	5,368,662
負債の部		
流動負債		
買掛金	232,632	132,422
短期借入金	243,980	200,000
1年内返済予定の長期借入金	13,300	5,296
未払法人税等	29,594	84,192
前受金	260,655	391,014
賞与引当金	56,421	44,513
その他	118,722	244,508
流動負債合計	955,307	1,101,948
固定負債		
長期借入金	500,000	500,000
退職給付に係る負債	40,845	40,965
その他	101,992	163,350
固定負債合計	642,837	704,315
負債合計	1,598,145	1,806,263
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,607,379	1,202,359
資本剰余金	1,560,759	1,155,739
利益剰余金	△494,316	967,703
自己株式	△88,785	△88,785
株主資本合計	2,585,036	3,237,017
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	142,204	308,476
その他の包括利益累計額合計	142,204	308,476
新株予約権	23,798	16,905
純資産合計	2,751,038	3,562,398
負債純資産合計	4,349,184	5,368,662

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	1,476,848	2,723,286
売上原価	1,083,162	1,905,599
売上総利益	393,685	817,686
販売費及び一般管理費	416,989	452,848
営業利益又は営業損失(△)	△23,303	364,838
営業外収益		
受取利息	1,718	815
受取配当金	281	285
為替差益	6,880	44,899
その他	826	2,877
営業外収益合計	9,707	48,877
営業外費用		
支払利息	1,084	3,020
新株予約権発行費	3,760	-
株式交付費	-	1,792
その他	175	1,100
営業外費用合計	5,020	5,913
経常利益又は経常損失(△)	△18,616	407,803
特別利益		
新株予約権戻入益	-	440
特別利益合計	-	440
特別損失		
固定資産売却損	-	1,202
固定資産除却損	217	-
特別損失合計	217	1,202
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△18,834	407,040
法人税、住民税及び事業税	22,194	83,663
法人税等調整額	5,681	61,357
法人税等合計	27,875	145,020
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△46,710	262,020
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△46,710	262,020

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△46,710	262,020
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	77,040	166,271
その他の包括利益合計	77,040	166,271
四半期包括利益	30,330	428,291
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	30,330	428,291
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	断熱材事業	アーカイブ 事業	インダストリアル ソリューション 事業	ナノマテリアル 事業	
売上高					
外部顧客への売上高	978,924	469,767	25,355	2,800	1,476,848
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	978,924	469,767	25,355	2,800	1,476,848
セグメント利益 又は損失(△)	98,232	53,625	15,257	△78,586	88,530

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	88,530
全社費用(注)	△111,834
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△23,303

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	断熱材事業	アーカイブ事業	インダストリアルソリューション事業	ナノマテリアル事業	
売上高					
外部顧客への売上高	2,137,391	558,528	21,314	6,052	2,723,286
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,137,391	558,528	21,314	6,052	2,723,286
セグメント利益又は損失(△)	458,605	94,207	12,154	△83,090	481,877

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	481,877
全社費用(注)	△117,039
四半期連結損益計算書の営業利益	364,838

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来「その他事業」としていたナノマテリアル事業の重要性が増したため、報告セグメントを「その他事業」から「ナノマテリアル事業」に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。